無限の可能性を信じて

第57回高等学校卒業式式辞（要旨）

中学・高等学校長　青木一男

ここ太平台に吹く風の冷たさも、ようやくやわらぎ、春の息吹が感じられる今日この佳き日、栃木市長大川秀子様、國學院大學栃木学園理事長木村好成先生をはじめ、多数のご来賓の方々、ご父母の皆様のご臨席を賜り、第57回國學院大學栃木高等学校卒業式を挙行できますことは、この上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

４６５名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは、本校の建学の精神のもと、様々な活動に全力で取り組んで大きく成長し、本日、晴れて卒業の日を迎えました。本日の喜びは、皆さんのたゆまぬ努力の結果であると同時に、皆さんのことを支えてくださったご家族を始めとする周囲の方々の励ましとご指導のお陰であることを忘れてはなりません。

現代社会を生き抜くために

さて、卒業生の皆さんは、これから大きな世界へと一歩踏み出していくわけですが、現在、日本の社会は予想もつかぬほど急激に変化し、国内外に解決しなければならない課題が山積しています。このような社会を生きる皆さんにとって、大切なこととは何でしょうか。私の考える三つを述べ、餞の言葉としたいと思います。

一つ目は、「何事も諦めず、最後までやり遂げようとする粘り強さ」です。皆さんはこの学舎で、様々なことに挑戦し、たくさんの感動と達成感を味わってきました。「限界は自分の心の中にあるもの。自分が諦めない限り限界はない」そのことを信じ、夢に向かってしっかりと力強く歩んでいってください。

校長より卒業証書の手渡し

次は、「思いやりの心と誠実さを備えた豊かな人間性」です。今年度の文化祭に来られたある方から後日メールが届きました。「校内で会う生徒さん皆さんが元気におもてなしの挨拶、そして笑顔で丁寧な説明・対応をしてくれました。家族で行かせてもらいましたが、大変気持ち良く文化祭を見学することができました」とありました。心遣い、思いやり、礼儀正しさ、真面目さは人を幸せな気持ちにしてくれます。これからもこの心を大切に持ち続け、他人の痛みを感じ、相手への「いたわり」、「優しさ」を持った「頼りになる人」になってください。

そして、三つ目は、「他のために、人を幸せにするために、学び、生きる」ことの大切さです。ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智先生が受賞時に述べた「アフリカの悲惨な病気を自分の薬で撲滅できると知った時には、人類に貢献できたと感じました」というひと言が強く私の心に残っています。先生はひたむきに研究を続け、年間３億人もの命を救う薬の開発に貢献されたのです。人はよく「何のために学ぶのか」「何のために生きるのか」を考え、悩みます。その答えがここにあります。「人類に貢献」という大きなことでなくても、周囲の人たち、すぐそばにいる人たちを幸せにすること、まずはそこから始めましょう。

卒業生として誇りを胸に

さて今皆さんの胸中には、３年間の学校生活の一つひとつの場面が、様々な思いを持って蘇っていることでしょう。早朝から夜遅くまで寸暇を惜しみ勉強したこと、仲間とともに切磋琢磨し高め合った部活動や生徒会活動、３年生の皆さんが、リーダーシップをとって盛り上げた体育祭や文化祭。特に体育祭において全力で集団演技に取り組んでいた姿は、まさにテーマである「英姿颯爽」そのものでした。

そしてもう一つ、思い出に残る出来事がありました。それは18年ぶりの野球部の甲子園出場です。試合を通して全員が一つになり、最後まで諦めない姿勢は、私たちに大きな感動を与えてくれました。勝利した後の球場に響き渡った校歌には本当に胸が熱くなり、本校生を心から誇りに思ったものです。

それでは皆さん、國學院栃木の卒業生であることの誇りを胸に、無限の可能性に挑戦してください。巣立ちゆく皆さんの前途に、幸多からんことを心から祈念し、式辞といたします。

校報

國學院大學
栃木中学高等学校
〒328－8588
栃木市平井町608
☎(0282)㉒5511
校報編集委員会

〈４月の行事予定〉

1日～３日　入学手続き
５日　単位認定試験(高)・職員会議
６日　入学式(中・高)
８日　始業式・対面式(中・高)
　　身体計測(中・高１年)
　　美化の日(中・高)
９日　授業開始・課題試験(高２・３年)
　　オリエンテーション(中・高１年)
　　太平山神社参拝(中・高)
９日～10日　課題試験(中２・３年)
10日　１・２年スタディサポート
　　スタディサプリ(高２・３年)
11日　男子胸部X線・心電図(中１年)
　　脳科検診(高)
12日～15日　第１回学力推移調査(中)
15日　男子X線・心電図(高１年)
　　男子心電図(中２・３年)
16日　女子胸部X線・心電図(高１年)
　　年女子心電図(中２・３)
17日　検尿(中・高)
18日　歯科検診(高２年)
　　生徒総会(中)
　　全国学力推移調査(中３年)
18日～20日　生徒研修(中１年)
22日・23日　内科検診(中)
23日　内科検診①(高２年)
25日　内科検診②(高２年)
　　歯科検診(中)
26日　情報モラル講演会
　　生徒総会(中)
25日～27日　生徒研修(高１年)
27日　３年全統マーク模試(高)

祝辞

本学園理事長　木村好成（要旨）

今日のこの暖かさ、明るさ。この時期には珍しいくらいの好天です。あたかも、今日卒業式を迎える皆を祝福しているかのようです。卒業生の諸君には、明るい気持ちでこれからの人生を歩んでほしいと思います。

本日、この席には栃木市長である大川秀子様、市議会議長であり、本校の６期生でもある大阿久岩人様が参列されております。栃木市とこの学校との関係は昭和35年、１９６０年に栃木市の私学誘致の招聘を受けたのが始まりです。当時の市長である大島貞吉氏を筆頭に、全市を挙げての私立高校誘致の要望が高まりました。さらに栃木県神社庁が設立され、その神社庁設立15周年に当たっての記念事業を思案されました。この二つの思いが合わさり、國學院大學理事会への附属高校設置の要請となり、國學院大學栃木高等学校の創立となったのです。

初代校長佐々木先生

世の中というものは不思議なもので、それが偶然のものであったとしても、出会いによって生まれてくる縁により様々なことが起こります。本校においては初代校長でもある佐々木周二先生が本校設立に尽力してくれたことが偶然の縁であり、大いなる幸運といえます。佐々木先生については皆には何度も話をしていることと思いますが、佐々木先生は中学校の４年生のときに結核を患いました。当時、結核は死病と言われ、大勢の若者が結核により命を落としました。佐々木先生はその後、中学校を休学し、６年間の闘病生活に入られます。さらに、御両親を病気で亡くす悲劇に見舞われますが、病気を克服し、中学校に復学、そして官費で学ぶことができる、東京高等師範学校に入学しました。

祝辞を述べる理事長

その学校の校長を27年間勤められたのが嘉納治五郎先生です。嘉納先生は幼少期、頭脳はきわめて明晰でありましたが、虚弱な体質で、よくいじめられていました。しかし、それを克服しようと日本に古来から伝わる柔術の修行に励みます。それにより心身ともに強靱な人格を形成されたのです。そして、御自身の貴重な体験を広く世に伝え、生かすことを思いつかれて東京大学を卒業後、学習院の教頭職を勤めるかたわら講道館柔道を興されたのです。その後、嘉納先生は日本も近代オリンピックに参加してはどうだという話を受け、日本の初代オリンピック委員を務めます。そこから今年のＮＨＫ大河ドラマ「いだてん」の話につながっていくのです。佐々木先生は東京高等師範学校で学ばれたことで嘉納先生の教育に対する考えを学んでいきます。その後、電波兵器会社を経営していた岩崎清一氏と知り合います。岩崎氏は太平洋戦争末期になり、敗戦が色濃くなったときに国の将来は若者に託さなければならないと学校経営を考えられました。そこで佐々木先生は杉並区の久我山に学校を開設する準備を託されました。それが久我山中学校です。

久我山の教育方針の一つ「忠君孝親」の精神は戦後、占領軍からは受け入れられないと学校存続の危機に陥りますが、佐々木先生は教育方針を貫き通しました。それが、國學院大學との合併の機縁が生じるきっかけとなります。このように、人間というものは様々な出会いで変化をしていくものだということを皆には知っておいてもらいたいものです。

仲間を大切に

今は人生１００年ということが言われております。私も今年86歳になりましたが、君たちはこれから長い人生をそれぞれ歩んでいくわけです。そこで大切になってくるものは友人です。この学園で、６年間、あるいは３年間の生活の中で培った人間関係には利害関係が絡まない純粋な人と人との絆があると思います。今、壇上には短期大学学長の中村幸弘先生がいらっしゃいますが、私と中村先生とは大学での同期生であり、同じ柔道部で汗を流した仲間です。そのときにできた絆が今の仕事につながっています。中村先生と話すときには昔の気持ちを今でも思い出します。こんなに楽しいことはありません。君達もお互い助け合って、隣にいる仲間とともにこれからの人生を歩んでいってほしいと思います。

大学の建学の精神に「国体の講明」というものがあります。日本という国は世界に一つの神の国であると私は習いました。現在、天皇陛下の御退位についての問題が語られておりますが、このような考えが背景にあるのです。「徳性の涵養」というのがもう一つの建学の精神ですが、その「徳」の根本にあるものは何かというと親に対して感謝の気持ちを持つことです。私たちは幼い頃、親の庇護がなければ生活できません。私たちは親からの愛情に常に感謝の心を持たなくてはいけません。現在は、残念なことに子供の虐待に関するニュースをよく見ます。これは幼い頃に人間のあり方というものをしっかりと学んでこれなかったからです。しかし、本校はこれらのことを君たちに教えてきました。本校の校訓である「たくましく　直く　明るく　さわやかに」を忘れずにこれからの道を歩んでください。

最後になりますが、もし、何かあればいつでも本校を訪ねてきてください。先生方はいつでも君達の助けになります。この学園で結ばれた縁を君達が大切にしてくれることを願いつつ、私からの祝辞とします。

様々な思いを胸に

平成30年度卒業生各種表彰（○は代表者）
螢雪の功成る

卒業生代表　濱野　冴月さん

◇卒業生代表
濱野　冴月

◇成績優秀者（82名）
大石航太郎　柏倉　祐哉
奈良　智之　依田　颯斗
海老沼真衣　佐竹花耶乃
○嶋田　有里　進上　里乃
石川　大洋　伊藤　聖真
鈴木　啓友　巻島　伸行
安永　純也　渡邉　友賀
大塚　亜海　柏﨑　梨凪
小林　理佳　西川華保子
野原　日奈　羽鳥　天音
濱野　冴月　石浦　岳人
上田　悠生　江俣　太誠
大森　俊輔　櫻井俊太郎
冨山　祐輔　平間　涼斗
伊東　真奈　長谷見桜花
磯　佳吾　大塚　太葵
小太刀颯馬　大島　晴佳
小堤　千夏　粂川　遥奈
桑原　優紀　杉本　小織
早乙女舞衣　山本　梨乃
渡邉　梨可　駒場　優斗
澤田友一郎　山名　貴彦
金森　春奈　保坂　真輝
井上　稜晟　江村　亮真
大濵慎太郎　戸林　大進
青柳　優衣　齋藤　佑
竹内　亮　冨樫　優作
冨田　宙輝　平田　大叶
北川　怜子　佐藤　七穂
富田絵唯奈　藤貫向日葵
駒場　琉音　丹生　洋介
小川桃唯琹　高橋　寿奈
渡部　望愛　木幡　凌大
船越　雅也　細井裕貴奈
秋山　花梨　魚谷　典
田中寿希哉　巻嶋俊太郎
山本　梨乃　渡邉　梨可
飯田　啄巳　川上　陽己
村上　優貴　大谷　百葉
兼子　奈緒　木村　歩美
藤村　和紀　石母田健太
近藤　翔真　島田　侑希
島村　広輝　関口　貴洋
細矢　澪　水澤龍太朗
○武藤　晃靖　石橋末幸都
岡田　夢摘　吉髙神舞依
竹内　彩夏　竹田　碧依
細見　優希　小野　拓真
櫟原　琴海　尾崎　七海
藤原　麻衣　鈴木貫太郎
熊倉奈ごみ　小矢島千華
中川　信乃　名越　咲
樗澤　優華　大栗　拓也
太田　匡祐　栗原　怜夢
小林　駿介　齊藤　拓馬
立川　奈知　渡邉　樹
谷澤　寿美　藤野　智也
粂川　遥奈　大島　晴佳
桑原　優紀　早乙女舞衣
津田有可子　渡邉　瑞希
金森　春奈　清川明日香
栗原　梨緒　関根　峻二
中村　太一　渡辺　匠海
冨田　宙輝　三田　勇輝
渡辺　拓海　小山内志織
梶木菜々香　北川　怜子
佐藤　七穂　富田絵唯奈
長﨑　香音　藤貫向日葵
今井　桃子　小川桃唯琹
佐藤真由香　竹井　彩乃
田島　胡桃　渡部　望愛
石川　翔悟　木口　尚儀
木幡　凌大　木村　優汰
村上　託海　寺澤　小夏
井上　諒祐　大塚　翔馬
木村　匠吾　見目　大樹
小村　文乃　宮本　真衣
癸生川大輝　福田　亮音
村井　啓又　石嶋　青空
毛塚　日菜　三浦　千裕
森　千花　大澤　一輝
栗山　大典　会田　実夢
浅井　智翔　新井　日菜
押山　奈々　関根　麻琴
高橋　萌　渡邊　喬日
秋元　信吾　齋藤　大樹
藤岡　俊行　増山　大輝
飯塚　春花　菊地　里桜
渡辺　茜　井上　雅登
河村　烈　菊地　翼裟
小泉　和穂　鳴海　尚樹
渡邉　将哉　青木　寿修
安達　翔栄　川中子宙夢
静井　優斗　須藤　蓮斗

◇三か年皆勤者（106名）
海老沼真衣　木村　咲乃
佐竹花耶乃　進上　里乃
田畑　那子　鈴木　醇也
鈴木　啓友　巻島　伸行
大塚　亜海　柏﨑　梨凪
小林　理佳　中田　薫
田島　樹　田浪　慎也
冨山　祐輔　山根悠太郎
伊東　真奈　髙岩　美采
長谷見桜花　濱野　萌
茂垣　実里　大槇　時生
齋藤　航輝　齋藤　悠輝
杉本　小織　早乙女笑美
山本　梨乃　渡邉　梨可
船越　雅也　木幡　凌大
細井裕貴奈　高橋　寿奈
秋山　花梨　魚谷　典
田中寿希哉　巻嶋俊太郎
君嶋　啓太　櫻井俊太郎
濱野　冴月　石浦　岳人
大森　俊輔　小倉　太地
小林　理佳　中田　薫
細見　優希　小野　拓真
櫟原　琴海　尾崎　七海
藤原　麻衣　鈴木貫太郎
竹内　彩夏　竹田　碧依
吉髙神舞依　
岡田　夢摘　
細矢　澪　水澤龍太朗
島村　広輝　関口　貴洋
近藤　翔真　島田　侑希
藤村　和紀　石母田健太
兼子　奈緒　木村　歩美
村上　優貴　大谷　百葉
飯田　啄巳　川上　陽己

◇三か年精勤者（112名）
會田　拓海　柏倉　祐哉
嶋田丈一郎　手塚　高康
野口　大成　大輪　美亜
中山　恵利　石川　大洋
伊藤　聖真　宇都木康寛
遠藤　正裕　島野晋太朗
安永　純也　山野井啓因
渡邉　友賀　江田　純菜
大坪舞衣子　新藤　涼帆
上田　悠生　大出甲斐莉
平間　涼斗　渡邉　貴大
青木詩緒里　只隈　友菜
寺村　知夏　生田目妃奈子
宮田　若奈　磯　佳吾
大阿久拓朗　大塚　太葵
石川　千智　今村　雛乃

◇善行功労者（2名）
新藤　涼帆○竹井　彩乃

外部団体からの表彰

◇日本私立中学高等学校連合会会長賞（1名）
井上　稜晟

◇栃木県高等学校野球連盟会長特別表彰（1名）
大久保謙亮

◇栃木県高等学校文化連盟連盟賞（1名）
森　千花

◇生徒会関係功労者（40名）
○吉田　圭吾　佐藤　七穂
柏﨑　香花　嶋田　有里
菊池進一朗　舘野　貴成
石田　輝世　牧之内唯衣
國武　陸　石嶋　青空
白田　涼介　北野　力幹
北川　怜子　平田　大叶
長谷見桜花　関口　貴洋
新井　日菜　牧野　励
小山優紀菜　池上　梓
冨田　宙輝　伊東　真奈
海老沼真衣　冨樫　優作
武藤　晃靖　遠藤　理子
渡邉　将哉　田島　胡桃
安部井まこ　森田　美玖
中山　伸枝　高鳥　航
小川　美穂　坂井　鈴佳
大迫　聖菜　磯　佳吾
島村うらら　北嶋　美月
濱野　萌　大塚　太葵
舘野　貴成　渡邉　晃希
渡邉　匠　岡田　紗瑛
坂本　佑香　牧之内唯衣

（4ページに続く）

◇栃木県高等学校体育連盟 優秀選手賞（33名）

○梶木菜々香　長瀬　笑佳
鈴木実沙樹　高島　七海
髙橋　萌　牧之内唯衣
坂本　佑香　安村　星砂
岡田　夢摘　細見　優希
増井　愛華　神保　那奈
宮本　菜々　舘野　貴成
髙野　健斗　西田　健人
國武　陸　河村　烈
岩﨑　光熙　石嶋　青空
大賀　美結　海老沼真衣
渡邉　匠　大久保謙亮
大栗　拓也　中村　公星
石母田健太　川中子宙夢
藤野　智也　野尻　夢樹
小泉　和穂　安達　翔栄
中里　泰介

◇栃木県バレーボール協会 優秀選手賞（5名）

牧之内唯衣　菊地　望月

◇栃木県ハンドボール協会 優秀選手賞（8名）

谷澤　寿美　永島　汐音
青山　紫妃
舘野　貴成　髙野　健斗
白田　純也　西田　健人
永吉　祐稀　土谷　優斗
村田　茂裕　栗山　大典

◇栃木県ラグビーフットボール協会 優秀選手賞（9名）

○中村　公星　石母田健太
川中子宙夢　藤野　智也
小泉　和穂　中里　泰介
安達　翔栄　野尻　夢樹
羽地　隆平

◇東関東吹奏楽連盟賞（1名）

木口　尚儀

◇栃木県書道連盟表彰（4名）

三浦　千裕　宮本　真衣
木村　真理　森　千花
以上

同窓会　クラス幹事		
クラス	男子	女子
N1	柏倉　祐哉	大輪　美亜
S1	石川　大洋	新藤　涼帆
T1	石浦　岳人	伊東　真奈
T2	磯　佳吾	小堤　千夏
A1	宮　海土	櫻田　真央
A2	古川　大吾	佐藤　萌香
A3	冨田　宙輝	牛込　知優
G1	渡邉　悠太	阿久津　海
B1	木口　尚儀	松井　理奈
B2	飯田　啄巳	小村　文乃
B3	飯塚　祐基	岡田　夢摘
B4	茅野　祥太	小山優紀奈
B5	吉田　侑馬	永島　汐音
B6	慶本　龍一	神保　那奈
B7	岩﨑　光熙	宮本　菜々

第57回卒業式行われる 新たな門出を祝う

答辞を述べる岡田さん

3月2日(土)、うららかな日差しにつつまれた四十周年記念館において、第57回卒業式が、多数の来賓、保護者の列席のもと盛大かつ厳粛に挙行された。

国歌斉唱の後、青木一男学校長より、卒業生総代である濱野冴月さん(S3年)に卒業証書が授与された。続いて、成績優秀者、三か年皆勤者・精勤者、生徒会関係功労者、善行功労者のそれぞれに賞状が授与された。

その後、学校長による式辞、木村好成学園理事長の祝辞と続き、来賓の方々による祝辞、政界や学校関係各所などから寄せられた祝電が披露された。

さらに、在校生代表として生徒会長木村直樹君(T2年)が、卒業生への感謝と共に、別れを惜しむ送辞を贈った。それに対して岡田夢摘さん(B3年)が、太平台で過ごした3年間を振り返り、答辞を述べた。

最後に卒業生一人ひとりに卒業証書の手渡しが行われた。卒業生は晴れやかな表情で学校長と握手を交わし、拍手に送られながら式場を後にした。

学年主任より 卒業生諸君へ

Nコース後期主任 N1組担任 後藤　史彦

いよいよ卒業ですね。一貫コースの諸君にとっては、6年間を過ごした学び舎からの夢と希望を抱いた旅立ちです。今後、人生というキャンバスを各々がどのように描いていくのか、期待しています。

同時にこれからは大人として見られます。その行動には責任が伴います。自分のことだけではなく、周囲や社会を支え、影響を与えられる力を身に付けていってください。皆さんの幸せと活躍を心より祈っています。次に会う時を楽しみに。

卒業、おめでとうございます。

Gコース主任 大島　秀郎

卒業おめでとう。3年間、昼休みの英会話活動に主体的に取り組みました。最終的に24周しました。そして2年間にわたり、コース通信G・T・Rをよく読んでくれました。こちらは300号を突破しました。君たちが一番輝いて見えたのは、何と言ってもハワイ修学旅行でした。一人ひとりが努力してGコースらしい成果をあげることができました。「失敗を恐れず大胆に！」という合言葉はまさに言い得て妙です。これからの人生行路において是非とも活かしてほしい。なりたい自分に向って、いざ出立だ。

STAコース主任 T1組担任 伊藤　健一

STA3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今振り返ると、本当にあっという間の3年間だったと感じています。君たちに対する私の印象は、集会等色々な場面において、とにかくしっかりと私の話を聞いてくれていたことです。これは、君たちの素直さや、謙虚さからきているものではないかと思っています。今後も学び続ける中で、素直に、そして謙虚に人の話を聞くことができれば、今後もますます成長していけるものと信じています。これからも君たちの成長と活躍を応援しています。

Bコース主任 坂本　一成

今、君たちの目の前には眩いばかりの未来が広がっています。そこを君たちは歩んでいきます。ただ何かあっても、私たちはすぐに手をさしのべてやることはできません。それでも臆することなく前へ前へと進んでください。失敗したとしてもそれは人生の財産となります。ただ、もしその歩みの中で自分ではどうしようもできなくなったとき、例えば絶望の淵に陥ったときには、遠慮せずに、この母校に顔を見せてください。卒業おめでとう。いつまでも元気で。そして、必ず、幸せになってください。

3学年　担任より卒業生へ

平成31年3月、晴れて卒業の日を迎えた第57期卒業生に、3学年各担任より別れと激励のメッセージを贈ります。「たくましく　直く　明るく　さわやかに」の校訓のもと、この学び舎に集い、数え切れない高校生活の思い出を胸に、新たな一歩を踏み出して太平台を巣立つ卒業生のみなさんのご多幸をお祈りします。

同窓会幹事に委嘱状

S1　木村　圭佑

あっという間に3年経ってしまいましたね。頭だけでなく、様々な部分で大きく成長できたはず。これからも「やるべきとき」を見極めて後悔のない素晴らしい人生を送ってください。君たちと過ごせて本当に楽しかった。ありがとう。

T2　堀越　太輔

卒業おめでとうございます。「人生における贅沢とは人間関係における贅沢のことである」という言葉があります。この三年間の出会い、友人がみんなの人生にとって贅沢なものとなってくれれば、先生はとても嬉しいです。お元気で。

A1　島田　秋

卒業おめでとう。この3年間で、楽しいこともあれば辛いことも多くあったと思います。人は辛い経験を乗り越えることで成長します。自分を支えてくれている多くの人達への感謝の気持ちを常に忘れず、これからも成長し続けてください。

A2　丸山　貴行

君たちとは3年間という大切な時間を共に過ごし、楽しかったことや辛かったことも共有できたのを感謝しています。これからそれぞれの道を歩んでいきますが、ここでの思い出を大切にし、胸を張って進んでいってください。卒業おめでとう。

A3　瀬賀　正博

「一生に一度は、すべてを根こそぎくつがえし、最初の土台から新たにはじめなくてはならない」（ルネ・デカルト）。もしも、その必要があると思っている人がいるのならば、今がその絶好のタイミングかもしれません。活躍を祈ります。

G1　北川　嘉則

この紙面ではおさまりきらないほどの、たくさんの思い出をありがとう。それでも3年間という月日は私がみなさんに伝えたいことをすべて伝えるには短すぎるように思います。まだ、たくさんのことを語り合いたい。私の自慢のクラスです。

最後のホームルームへ

仲間とともに、卒業！

B1　大橋　幸子

自分の得意なこと、できることを見つけよう。そしてそれを活かして生きていこう。歩む道の中で、困っている人がいたら、優しく声をかけて、支えることができるような大きな人間になろう。皆は、それができると信じています。

B2　篠原　慎二

文化祭で行なった「ウォーリーを探せ」と売店は特に印象に残っています。修学旅行も皆で無事に全日程をこなし、とても楽しかったですね。団結力があって、なかなかよいクラスでした。卒業おめでとう。これからは何事に対してもベストを尽くしてください。

B3　福田　雅一

「学生時代を思い出して、懐かしがるのは構わないが、あの時は良かったな、オアシスだったな、と逃げるようなことは絶対に考えるな。そういう人生を送るなよ。」好きな小説の一節を送ります。手が全くかからなかった君たちの未来に幸あれ。

B4　坂本　嘉史

卒業おめでとう。君たちと過ごした1年の、たくさんの出来事は私にとってはかけがえのない思い出です。変化の激しい現代は思いもよらないことがおこります。そうした変化を楽しんでいけるよう、失敗を恐れずチャレンジしていこう！

B5　西村　俊治

高校3年間で色々なことがあったと思います。その中で様々な人と出会ったと思います。人との出会いは生きる上で、とっても大切な宝物です。これからの人生において沢山の人と出会うと思います。その出会いを大切にしてください。卒業おめでとう。

B6　氏家　真

卒業おめでとう。私の好きな言葉に、「足並みはそろえるものではなく、ふと横を見たら何人かいたというものだと思う（俳優　山本耕史）」という言葉があります。確固たる信念と目標に向かって努力し続け、多くの仲間を作ってください。

B7　中田　勇樹

卒業おめでとうございます。君たちとの時間はあっという間に過ぎていきました。今後、君たちが生きていく中で大きな選択をしなくてはいけない時が来るでしょう。その時に最良の選択をし、良い人生を送れることを切に願っています。

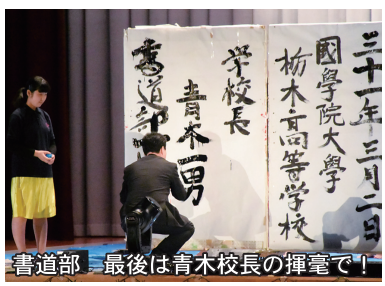
第57回　予餞会
「ありがとう」
～伝えきれない想いをカタチに～

第57回予餞会は2月28日（木）午後1時30分より、創立四十周年記念館で行われた。予餞会は、卒業を迎える3年生へ、在校生が感謝の意を込めて送る餞の会である。予餞会実行委員長の前原剛君（N2年）は、「私たち後輩から先輩方へ、伝えきれないほどの感謝の気持ちを表現し、楽しく、一生忘れられない時間をお届けしたいという気持ちでテーマを選出しました」と挨拶。司会者の小林亜珠花さん（S2年）と鹿児島妃翠さん（T2年）のかけ声が合図となり、舞台の幕が開いた。

予餞会のプログラムは下記の通り。途中ブレーカーが落ちて電源が切れてしまうトラブルが発生し、中断を余儀なくされたが、スタッフたちの冷静で懸命な措置により復活、最後までプログラムをこなすことができた。

時間超過はほとんど気にかからず、充実した楽しい会を堪能することができた。

応援部によるダンス（左写真も）



書道部　最後は青木校長の揮毫で！

書道部パフォーマンス

吹奏楽部公演　みんなでＹＭＣＡ！

ＮＳＴＡＧ３年の先生方公演

Ｂコース３年の先生方　「笑点」

最後に熱唱「贈る言葉」！

プログラム

1、開会のことば
2、予餞会実行委員長挨拶
3、公演
　①　オープニング
　②　応援部公演
　③　思い出のアルバム
　　1）写真と映像で振り返る３年間
　　2）運動部の活躍映像
　④　吹奏楽部演奏
　⑤　書道部パフォーマンス
　⑥　ＮＳＴＡＧ３年・Ｂコース３年の先生方の演技
　休憩
　⑦　ミュージカル部公演
　⑧　K-Tube+部活動バイバイＤＶＤ
　⑨　グッバイＤＶＤ
4、新旧生徒会長挨拶
5、３年生退場
6、閉会のことば

ミュージカル部
ダンスドリル大会の成果を披露

Ｂコース３年の先生方　お別れ

プログラムにはなかったが、今年度で定年退職されるバレーボール部福田監督からお別れの挨拶がなされて、バレーボール部キャプテンの牧之内さん（B3年）から監督に花束が贈られた。

閉会にあたっては、新生徒会長の木村直樹君（T2年）から、前生徒会長の吉田圭吾君（A3年）へ記念品と花束が贈られた。吉田君は「1・2年生の皆さん、伝統を受け継ぎ充実した学校生活を送ってください」と挨拶。最後に在校生による拍手の中、担任の先生方の先導で3年生は退場となり、盛況のうちに幕を閉じた。

新旧生徒会長挨拶

福田監督に
感謝を込めて

大学合格速報（3）

※一部掲載

秋田大学
理工学部
数理・電気電子情報学科（1名）　1名
茨城大学
人文社会科学部
現代社会学科（1名）　2名
宇都宮大学
教育学部
学校教育教員養成課程
教科理系（1名）
工学部　基盤工学科（1名）　1名
帯広畜産大学
畜産学部
畜産科学課程（1名）　1名
九州工業大学
情報工学部
情報工1類（1名）　1名
群馬大学
教育学部
学校教育教員養成課程
数学専攻（1名）　2名
埼玉大学
教養学部（1名）　1名
工学部　応用化学科（1名）
信州大学
医学部　保健学科
看護学専攻（1名）　1名
千葉大学
工学部総合工学科
医工学コース（1名）　1名
弘前大学
医学部　保健学科
看護学専攻（1名）　1名
都留文科大学
教養学部
地域社会学科（1名）　1名
長野大学
環境ツーリズム学部（1名）　3名
青山学院大学
理工学部
物理・数理学科（2名）
機械創造工学科（1名）　1名
岩手医科大学
医学部医学科（1名）　2名
神奈川大学
経済学部（1名）
工学部
電気電子情報工学科（1名）　1名
神奈川歯科大学
歯学部（1名）　1名
久留米大学
医学部医学科（1名）
順天堂大学
スポーツ健康科学部
健康学科（1名）　5名
国際教養学部
国際教養学科（2名）
保健医療学部
理学療法学科（2名）　1名
昭和大学
歯学部歯学科（1名）　1名
成城大学
社会イノベーション学部
心理社会学科（1名）　3名
大東文化大学
経済学部
社会経済学科（1名）
スポーツ・健康科学部
看護学科（1名）
社会学部社会学科（1名）　2名
玉川大学
農学部環境農学科（1名）
工学部
ソフトウェア
サイエンス学科（1名）　1名
中央大学
法学部法律学科（1名）　3名
東京理科大学
理工学部
物理学科（1名）
電気電子情報工学科（1名）
基礎工学部
材料工学科（1名）　1名
同志社大学
生命医科学部
医工学科（1名）
東洋大学
社会学部
社会心理学科（2名）　3名
獨協大学
国際教養学部
言語文化学科（1名）
経済学部
経済学科
経営学科（1名）　2名
獨協医科大学
医学部医学科（2名）　7名
日本大学
文理学部
体育学科（1名）
数学科
情報科学科（1名）
生産工学部
建築工学科（1名）
マネジメント工学科
（1名）
歯学部歯学科（1名）
生物資源科学部
生命農学科（1名）　4名
文教大学
教育学部
心理教育課程
幼児心理教育コース（1名）
人間科学部
人間科学科（1名）
臨床心理学科（1名）
文学部
日本語日本文学科（1名）　4名
法政大学
人間環境学部
人間環境学科（1名）
社会学部社会学科（1名）
理工学部
機械工学科（1名）
創生科学科（1名）　2名
明治大学
理工学部
電気電子生命学科
生命理工学専攻（1名）
国際日本学部
国際日本学科（1名）　2名
立教大学
社会学部
現代文化学科（1名）
理学部物理学科（1名）　7名
早稲田大学
政治経済学部
国際政治経済学科（1名）
法学部
文学部（1名）
教育学部　理学科（2名）
生物学専修（1名）
商学部（1名）
国際教養学部（1名）

●各コースは、次の記号で表示されます。

中高一貫コース	N
特別選抜Sコース	S
特別選抜コース	T
選抜コース	A
グローバルコース	G
文理コース	B

教務日誌抄〈高校〉

〈3月〉
1日(金)卒業式予行・賞状授与式・同窓会入会式
2日(土)第57回卒業式
4日(月)～7日(木)　1年期末試験
4日(月)～8日(金)　NSTAB2年修学旅行
4日(月)～9日(土)　G2年語学研修
16日(土)新入生ガイダンス・父母会支部長会
18日(月)成績判定会議
19日(火)終業式・身体計測
20日(水)新入生学力試験　単位認定試験
22日(金)職員研修・職員会議
23日(土)～27日(水)　春期講習

【訃報】柏﨑真由美様（N1年1組柏﨑郁音さん御母堂）3月2日逝去。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成30年度第21回國學院大學栃木中学校卒業式

旅立ちの時　新しいステージへ

３月９日（土）に第21回中学校卒業式が生徒会館大ホールにおいて挙行された。今年度は30名の生徒たちが卒業し、高校という新たなステージに向かって進んでゆく。進学後も「たくましく　直く　明るく　さわやかに」精進してほしい。

卒業式挙行

３月９日、中学校において第21回卒業式が挙行された。青木一男校長は式辞において、次のように述べた。

「まずは、常に目的意識を持って行動する人になってほしいのです。このような人になりたいとの『強い思い』を持てば、はるか遠くにあった目標も徐々に近づいてきます。『努力は裏切らない』ことを信じて向かっていきましょう。

次に、人とのつながりを大切にする人になってほしいということです。人は一人では生きていけません。様々な人間関係の中で生きています。困難にぶつかった時、人と人とのつながりの中で解決されることもたくさんあります。人への思いやりは他の人を幸せにするだけでなく、自分をも幸せにします。

三つ目ですが、皆さんがこうして無事、卒業の日を迎えられるのは、常に変わらぬ愛情を注ぎ、励まして来られたご家族の方々、ある時は厳しく、またある時は温かく指導してくださった先生方、職員の方々、そして関係してきた周囲の方々の熱いご支援があったからです。これらの方々への感謝の気持ちを忘れずに、将来は、たとえ小さなことでも、一人ひとりが自分にできることをしっかりと社会に返していってください。『社会に貢献』ということは、つまり『人のために』ということです。これが皆さんの『何のために生きるか』『どう生きるか』の答えとなり、生きていく原動力となることでしょう。」

その後、在校生代表の平田竜都君が送辞を読み、卒業生たちの思いを引き継ぎ、よりよい学校を作っていく決意を述べた。

卒業生の答辞では島村萌生さんが感謝の気持ちとこれからの決意を述べた。

答辞を読む島村さん

栄光を讃える

（○は代表者）

卒業生代表
寺井　健人

成績優秀者（６名）
○大塚　翔吾　佐藤　瑞己　鈴木　雅弘　寺井　健人　鬱田　涼花　島村　萌生

三か年皆勤者（５名）
川田　翔　堀江　裕二　生沼　愛美　○鬱田　涼花　島村　萌生

三か年精勤者（４名）
大塚　翔吾　狐塚陽南子　鈴木　愛唯　松永　琉羽

生徒会関係功労者（２名）
○髙橋美弥英　本間風和里

日本私立中学高等学校連合会会長賞（１名）
佐藤　瑞己

健康推進優良賞（１名）
生沼　愛美

栃木県中学校体育連盟体育運動優良賞（２名）
鈴木　雅弘　○狐塚陽南子

優秀選手賞（２名）
○鈴木　雅弘　堀江　裕二

下都賀地区学校体育連盟優秀選手賞（６名）
池澤　賢汰　大塚　翔吾　○川田　翔　鈴木　雅弘　関根　隼　堀江　裕二

下都賀地区中学校文化活動優良生徒（２名）
○髙野　水伶　戸張　怜

栃木支部運動優秀選手賞（10名）
池澤　賢汰　大塚　翔吾　川田　翔　鈴木　雅弘　関根　隼　寺井　健人　東城　由季○堀江　裕二　狐塚陽南子　髙野　水伶　以上

English Speech Contest

平成31年２月16日（土）大ホール

◆１年レシテーション部門
第１位　澤村　朱羽「Going Home」
第２位　符　文嘉「The Choir」
第３位　早川　花南「Travel to the Sun」

◆２年スピーチ部門
第１位　平田　竜都「English as a Tool」
第２位　伊藤　媛香「Visas for Life」
第３位　渡辺　雄文「Language Changes our Society and World」

◆１年スキット部門
第１位「The Rice Ball Roll」
朝妻　優斗・大嶋　真平・荒木　郁実・金子　佳瑛・坂本　悠歩

◆２年スキット部門
第1位「The Big Tree that Was Cut Down」
安達　薫・貴船　新太・下川　海斗・菅沼　愛里・菅野谷百恵・鈴木　鳳

しもつけ新聞塾

２月26日（火）、音楽室にて、下野新聞社教育文化事業部の大平正典さんを迎えて、しもつけ新聞塾が２年生を対象に実施された。

新聞の役割を学び、記事を読み比べて、視点や伝え方の違いなどを学んだ。その後、当日の新聞の中から、生徒それぞれが最も気になる記事を選んでスクラップにし、選んだ理由、記事の感想などを発表した。新聞やその職業に関心を持った生徒も多かった。

面白い記事はどこだ！？

教務日誌抄〈中学〉

（３月）
１日（金）美化の日
３日（日）第２回新入生ガイダンス
新入生学力試験
４日（月）～６日（水）
期末試験（１・２年）
４日（月）３年生帰国
８日（金）卒業式予行
９日（土）第21回卒業式
18日（月）成績判定会議
19日（火）終業式
23日（土）～27日（水）
春期特別講座